

銚子市決算 4億8500万赤字見込み

銚子市の今年度一般会計決算が、約4億8500万円の赤字と見込まれていることが15日、分かった。市役所で同日開かれた市行財政改革審議会(会長・伊永隆史、千葉科学大副学長)の会合で、昨年12月24日時点の見通しを市が報告した。

市は赤字幅を減らすため、基金取り崩しや滞納市税の徴収強化、未利用市有地売却へ向けた取り組み継続などの方針を示した。貯金に当たる財政調整基金の残高は今

財調基金も底つく見通し

年度末で底をつく見通しだという。

審議会の委員らからは「基金は今年使ったら、二度と出てこない」「かなり真剣な対策を考えないと、来年度が大変になる」などの意見が出た。越川信一市長は「想定以上の人口減少の中で、歳入減が続いている。事業の見直しや施設の廃止の検討など、人口規模に合ったダウンサイジング(規模縮小)をしながら、人口減少を食い止め、お金を捻出したい」と述べた。